

プログラム名(テーマ) 絆 活動班 A班 7人 B班 7人 C班 7人 D班 8人 E班 8人 F班 8人
※ 班名は、児童に決めさせるため、変更あり ※ 1組, 2組混合

目指す児童・生徒像 互いに助け合い、尊重しあえる児童

		◎ めあて ○ 場所 ☆ 講師依頼							
起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他		
1 日 目		8:10 学校集合 A班担当 8:30 学校発 9:30 IC休憩 10:30 施設着 10:30 入所式 ◎これから活動に入る心構えをつくる。 ○ロビー B班担当 オリエンテーション 11:00 施設見学オリエンテリング ◎施設各所の位置把握ができる。 ○館内施設各所 ・施設のこれから使う場所に自校職員が立ち、その場所の使い方や特徴について観察クイズをだし、その施設の利用について理解する。	12:00 食堂	13:30 赤城アドベンチャープログラム ◎活動する仲間をよく知り、信頼し合える関係作りができる。 ○PA ロープスコース ☆講師依頼 ・協力する、信頼することを体験する。最後には、必ずふりかえりを行い、みんなの前で発表する。 ・長袖、長ズボン着用 (これからの野外活動全て) ・班は、2班合併 自由行動 16:30 ○宿泊室 17:00 タベの集い C班担当 ○集いの広場	17:20 食堂	19:00 星の観察 ◎星及び星座の位置確認及び山の星空のすごさを体験する。 ○屋根付き広場周辺 ・クラスごとに観察 20:00 終了	20:10 入浴 21:00 班長会議		
				小雨決行 豪雨時 13:30 体育館にて、室内でできるPAを実施 15:00 施設着 ・到着後は、部屋にて詩や作文にて振りかえりをさせる。できたら、すぐに指導者部屋に提出させる。 17:00 タベの集い ○集いの広場 E班担当		雨天時 中止 部屋にて自由行動			
2 日 目	6:00 起床 簡単な清掃 朝の集い D班担当	7:30 食堂	9:00 あかぎ登山D ～15:00 ◎苦しい体験の中、励まし合いながら登山をすることにより、達成感を味わい、友情を深める。 ○地藏岳 ☆講師依頼 (下見によって決定) ・グループ単位で登山させ、前日のAAPの精神をもって、体験学習サイクル・フルバリューコントラクト、チャレンジバイチョイスを意識して実施する。 ・安易な下山がないよう声かけ等で支援していく。 ・事前の準備を入念にチェックする。 ・事前調査で必ずコース、危険箇所を確認。	12:00 山頂弁当	13:30 小雨決行 豪雨時 15:00 体育館にて、室内でできるPAを実施 17:00 タベの集い ○集いの広場 E班担当	17:20 食堂	18:30～20:00 キャンプファイヤー ◎学校全体で親睦を深めるとともに、その企画・実演を児童自身に行わせることにより、自主性・自発性を養う。 ○多目的フィールド 営火場 ・事前にクラスごとに出し物を用意 ・実行委員を学校で選出し、運営に当たらせる。 ・登山での振り返りの詩や作文で良いものを紹介する。最後に営火長より簡単で短い感動的な話。 営火長 司会長 火守 校長 学年主任 実行委員長 2組担任 養護教諭	20:30 入浴 21:00 班長会議	
			雨天時 ニュースポーツ大会 ○体育館 ・クラス対抗、グループ対抗で考えさせながら実施。最後に振り返り。	12:00 野外弁当	雨天時 アロマキャンドル作り ○研修室 ・時間があれば、フラワーアレンジメントも実施。キャンドル サービスにて利用。	雨天時 キャンドルファイヤー ○研修室 ・アロマキャンドル、フラワーアレンジメントの作品を利用。			
3 日 目	6:00 起床 簡単な清掃 荷物のまとめ 部屋整理	7:30 食堂	9:00 オリエンテリング ◎指導者がいない場面で、助け合い、よりよい信頼関係を築き上げる。 ○施設周辺 11:30 ・今での活動の総仕上げであることを告げる。 ・オリエンテリングの採点だけでなくグループの雰囲気、協力等も採点基準に伝える。 ・三日間を振り返って、グループで話し合わせる。その後、発表。	12:00 食堂	13:00 退所式 ◎活動に関する心のけじめをつけるとともにお世話になった方々への感謝の気持ちを養う。 ○ロビー F班担当 13:30 出発 15:30 学校着 15:40 解散				
	7:10 朝の集い E班担当 7:20 校内RC ・荷物は所定の場所へ移動。		小雨決行 豪雨時 赤城山エネルギー資料館見学 見学が無理な場合、ゲームレクリエーション ○ エネルギー資料館 or 体育館						

下段には、めあてや指導者、班分け、費用、準備、事前・事後指導、留意点などを記入。